

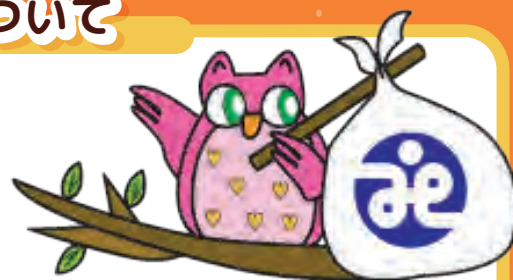
ふくしなか～事業紹介～

社会福祉協議会（社協）は、地域みなさんやボランティア・社会福祉関係者とともに、誰もが安心して自分らしく暮らせる「福祉のまちづくり」を目指した様々な活動を行っています。民間としての「自主性」と広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という二つの性格を併せ持っている協議体です。

今回の区社協だよりでは、中区社会福祉協議会が取り組んでいる事業の一部を紹介いたします。

中区見守り活動推進事業（愛称：おふくろさん）について

中区見守り活動推進事業（愛称：おふくろさん）は、民生委員の方が一人暮らし高齢者等の見守り訪問を行う際に、訪問のきっかけのひとつとして「おふくろさんグッズ」をお渡しする活動です。地域での見守り支え合いの環境づくりを推進するために地区社協（※）と民生委員が協力して平成21年度から継続して行われています。民生委員は訪問による見守りを、地区社協は地域で見守り続けられる仕組みづくりを担っています。



「おふくろさんグッズ」とは、非常用持出袋としてお使いいただける巾着袋の中に、あんしんカード（緊急連絡先カード）と災害用保温シートが入っているもので、資材の購入には、皆様からお預かりした共同募金の財源を活用しています。グッズを持参することで見守り訪問を円滑に進めることができ、安心して暮らせるまちづくりに役立っています。

おふくろさんグッズ

※地区社協とは自分たちの地域は自分たちでよくしていこうという気持ちで組織された地域住民による任意団体です。一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを目的とし、地区内の福祉に関わる団体・施設などが会員となりネットワーク組織として活動しています。中区内には、連合町内会を単位とした地域福祉活動を行っている13の地区社協があります。



赤い羽根共同募金について

赤い羽根共同募金は「たすけあいの精神」のもと、毎年10月1日～翌年3月31日までの期間、全国一斉に展開されている運動です。中区でも各自治会・町内会でご協力いただく戸別募金をはじめとして、民生委員児童委員やボランティア団体等、多くの区民の方より募金運動へのご協力をいただいております。今年度も10月1日、2日の街頭募金、11月9日のハローよこはまにおいても募金活動にご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。

皆様からいただいた募金は中区内で活動するボランティア団体への助成金や、障害者グループホームの車両購入費などとして配分され、幅広く活用されています。より詳しい用途については、赤い羽根データベース「はねっと」にて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

赤い羽根データベース
「はねっと」



R7 共同募金 PR 大使
野毛山動物園のミナミコアリクイ
「ムム」

ボランティアセンターについて

中区ボランティアセンターは、ボランティア活動に関する相談・調整や情報提供を行い、地域でボランティアを「したい人」と「必要とする人」をつなぎ、その方にあった活動を行えるようにサポートしています。10月時点で114団体、個人384名にボランティア登録していただいています。ボランティア活動としては、障がい施設での見守り、子ども食堂のお手伝い、地域で開催される高齢者サロン、食事会でのレクリエーション披露などがあります。

また、区内学校や企業からよせられる福祉に関する講座の相談にも対応しています。昨年度は、区内小学校で白杖を用いて視覚障がいのサポート方法を体験する講座や郵便局職員を対象とした福祉車両・車いすの乗車体験を実施しました。実施には区内で活動しているボランティアや企業の力もお借りしています。

福祉に関する講座の開催についてのご相談は下記までご連絡ください。



福祉学習の様子
(福祉車両・車いすの乗車体験)

相談者の声

郵便局には車いすの方も来られますが、操作方法が分からない職員もいました。より良い接客のために、車いす講座を検討し、社協に相談しました。どんな内容にすればより参加者に伝わるか等、一緒に考えてくれたので助かりました。

参加者の声

初めて車いすに乗り、貴重な経験ができました。これから困っている人を見かけたら、この経験を活かしたいです。

社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
〒231-0023
横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4F
TEL: 045-681-6664 FAX: 045-641-6078



ホームページ